

## カニ運搬船火災 - 西日本防災システム

2013 05 16

5月16日午前1時45分頃、北海道稚内市末広の稚内港の天北2号埠頭で、停泊中のカンボジア船籍のカニ運搬船「タイガン」(497トン、23人乗り組み)が燃えていると119番がありました。船の後方3分の2程度の内部を焼損し、ロシア人乗組員6人とみられる遺体が船内から見つかったそうです。稚内消防署の消防車6台と、稚内海上保安部の巡視船艇2隻が出動し、消火に当たり、約11時間後に鎮火しました。

道警や消防によりますと、ロシア人乗組員ら3人が病院に運ばれたようです。うち1人は煙を吸っていますが軽傷とみられ、2人は顔などにやけどを負って入院したものの命に別条はないそうです。

詳しい出火原因を調べるため、国土交通省運輸安全委員会の事故調査官が17日、調査を始めたようです。

稚内消防署などによりますと、出火したカニ運搬船「タイガン」の居住区域にはベッドなどがあり、燃え方が激しかったそうです。内装に木材が使われていて、短時間で燃え広がった可能性があるそうです。船底にある機関室や燃料庫はあまり燃えていないようです。

遺体は、後方上部にある操舵(そうだ)室付近で1人、居住区域で5人が見つかったそうです。居住区域から甲板に出るハッチに板が張ってあるなど、個室が入り組んだ構造になっており、脱出を阻んだ可能性もあるようです。

やけどなどを負って病院に搬送された乗組員3人のうち1人は、船窓付近の壁をガスバーナーで切断し、その穴から救出されたそうです。

亡くなられた船員のかたの御冥福をお祈り致しております。

映像はインターネットより



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

